

デジタルで移動を便利に

皆さん一人一人の暮らしの視点から

デジタル庁

A vertical rectangular graphic with a blue and white grid pattern, resembling a stylized building or data structure.

デジタル庁

国民の皆さん一人一人の暮らしの目線で

- 暮らしのシーンで移動はつきもの。みなさん一人一人の暮らしの中で不便さを感じることはありませんか？
 - スーパへ行くときのどうやっていこう？
 - 免許を返納というけど、日々どう生活すればいいの？
 - いつも満員電車。ストレス無く移動できないかな？
 - 市役所行きのバスの便数が減った。どうしよう？
 - ここの道路いつも赤で止められる。交通量ないのに・・・
 - 通学路を車が頻繁に走っていてちょっとこわい



デジタルで移動が便利に

- 暮らしの中で便利になったなという経験はありませんか？
 - 昔は、場所が分からず、道に迷ったが、今は、スマホで経路検索で、目的地に不安無く到着することができるようになった。
 - 毎回券売機に並んで、イライラしていたが、ICカードでスムーズに乗降できるようになった。
 - 運転が不安で、家族に止められていたが、安全機能で見守ってくれているため、外出機会が増えて、生活が楽しくなった。



暮らし目線でもっと便利にしたい

- デジタル庁では、暮らしが便利になるようなデジタル社会の将来像を、みなさんと一緒に考えていきます。

- スマホ1つでいつでもどこでも気軽に出かけられ買い物も安心
- 地方部でも都会と同じような暮らしができるかも
- 病院へ行く時代から病院のほうに来る時代になるかも



- 一人一人の暮らし目線で、歩くから飛ぶまで、人からものまで、移動はどうあるべきか、どう実現すべきか考えます。

デジタル交通社会を考えるにあたって

- 国民一人一人の暮らし目線で、バックキャストの視点にあたって、モビリティに関する課題を解決していきたいと考えています。
 - 現在の延長線上の議論でなく、あるべき姿からの議論を
 - モビリティ目線だけでなく、社会全体の日線で
 - 技術目線よりも、サービス目線で
 - サプライヤー目線よりも、カスタマー目線で
 - GtoB, GtoCでなく、GtoBtoCでビジネスモデルを意識して
 - デジタルだけでなく、デジタルを活かせる社会システムも
 - 実証で終わらずに、実現するにはどうしたらいいかという視点で

デジタル庁 モビリティ班で、今後やりたいこと

- 机上の作業より、1つの共通体験を！現場の声を！

- **現場を知ること**を第一に掲げます！

- **見せたいもの、言いたいこと**があれば、**言ってください！**

- **一緒に、共創**しましょう！

- 共創を進めていくために、**共通する価値**を作り、**横串**を通します！

- ふわふわ将来像ではなく、**拡張性がある現実的な実装**に取り組んでいきます！

参考資料

暮らしの視点から、社会の将来像やモビリティのありかたを
考えるにあたって

デジタル庁

目次

- 暮らしを起点にシティプロモーションを行っている事例（流山市 資料）
- 人々の幸せにつながるという観点で示した道路の将来像
（国交省発行 2040年、道路の景色が変わる）
- 人の移動に寄り添った海外事例（株式会社rimOnO 伊藤慎介様）
- 様々な地域に住む人がよりよく生活を過ごせるための将来サービス像
（官民ITS構想・ロードマップ 2021年発行）

「暮らし」の観点からシティプロモーションを図っている事例



このまちで、くらす、はぐくむ。

流山市にくらしてみても、分かること。

「こうだったらいいな・・・」
と思っていたことが
1つひとつ叶えられていくこと。

憧たしい毎日の中でも
充実した時間を感じられること。

そして、
流山市というキャンパスに描く未来を、
自分たちの色で
思いのままに彩っていけること。

MON.

月曜日:
南流山駅から秋葉原駅まで、
つくばエクスプレスなら最速で20分*。
通勤時間が短い分、
平日でも家族との時間をしっかりと持てる。

シンプルなことだけど、
こんな暮らしがしたかったんだ。

交通 **P3-4▶**
*所要時間はTX(首都圏新都市鉄道)ホームページ内より

TUE.

火曜日:
庭で育てていたミニトマトが
真っ赤に実り、
朝のテーブルに彩りを添える。
我が家だけの特別なサラダ。
「これね、今朝採れたてなのよ!」

おうちガーデニングの楽しさに
すっかり目覚めちゃった。

環境 **P5-6▶**

WED.

水曜日:
「今日はパパと行くー」
という子どもの声に、
待ちましたとパパの満面の笑顔。

駅前送迎ステーションだと
通勤途中に預けられるから
日々の通勤も子どもとの
コミュニケーション時間に。

子育て **P7-9▶**

THU.

木曜日:
子どもが何だか楽しそうに
英語の歌を口ずさんでる。
学校で受ける
ネイティブの先生の授業が、
相当お気に入りみたい。

早い段階で英語が身に付くと、
将来活躍の場が広がりそう。

教育 **P10▶**

FRI.

金曜日:
鳥のさえずりに誘われて、
少し遠回りして散策。
木々の間から降り注ぐ太陽の光と
森を吹き抜ける心地よい風。

ちょっと足をのほすだけで
こういう森があるのがいい。

自然 **P13-14▶**

SAT.

土曜日:
ご近所のファミリーと一緒に
「森のマルシェ」へ。
生産者さんと直接話しながら、
あれこれ選ぶのが楽しい。

イベントがたくさんあるから、
週末のスケジュール帳も
予定がぎっしり。

イベント **P19-20▶**

SUN.

日曜日:
講座で知り合ったママさんは、
みんな自分の夢を持っていて、
すごく刺激になるステキな人たち。
ママ友の他に、
夢を語り合えるママがいるって心強い。

このまちで一緒に成長していけそう。

未来 **P21-22▶**

「暮らし」の観点からシティプロモーションを図っている事例

MY GREEN TOWN / 子育て

「母になるなら、流山市。」を実感できる毎日。
子育てが“孤育て”にならない安心感が強い味方。



通勤時に駅でお子さまを預けて保育所(園)に送迎するシステム
「駅前送迎保育ステーション」をはじめ、
子育てサロンや子育て講座、教育環境の充実など
様々な角度から子育てをサポート。
地域コミュニティとの繋がりの中で子育てができるような環境が整えられています。



駅前送迎保育ステーション

全国的にも注目を浴びる「駅前送迎保育ステーション」。
流山おおたかの森駅、南流山駅前から市内の認可保育所(園)を結ぶ、安心・安全のバスを運行。出勤時にお子さまを預け、帰宅時にお迎えできるサービスです。
共働きの子育て世帯が増加するなか、お子さまの笑顔を守り、ご両親が日頃の仕事に集中できるよう、快適な暮らしをサポートします。



道路の中長期ビジョン

◆道路の景色が変わる ～5つの将来像～

①通勤・帰宅ラッシュが消滅

- テレワークの普及により通勤等の義務的な移動が激減
- 居住地から職場までの距離の制約が消滅し、地方への移住・居住が増加

②公園のような道路に人が溢れる

- 旅行、散策など楽しむ移動や滞在が増加
- 道路がアメニティ空間としてポテンシャルを発揮

③人・モノの移動が自動化・無人化

- 自動運転サービスの普及によりマイカー所有のライフスタイルが過去のものに
- eコマースの浸透により、物流の小口配送が増加し、無人物流も普及

④店舗(サービス)の移動でまちが時々刻々と変化

- 飲食店やスーパーが顧客の求めに応じて移動し、道路の路側で営業
- 中山間地では、道の駅と移動小型店舗が住民に生活サービスを提供

⑤「被災する道路」から「救援する道路」に

- 災害モードの道路ネットワークが交通・通信・電力を途絶することなく確保し、人命救助と被災地復旧を支援



公園のような道路



マイカーを持たなくても便利に安心して移動できる
モビリティサービス



店舗(サービス)の移動

出典：国土交通省 2040、道路の景色が変わる ～人々の幸せにつながる道路～

道路の中長期ビジョン



人中心の空間として再生した、まちのメインストリート



安全性や快適性が確保された歩車共存の生活道路

海外の事例

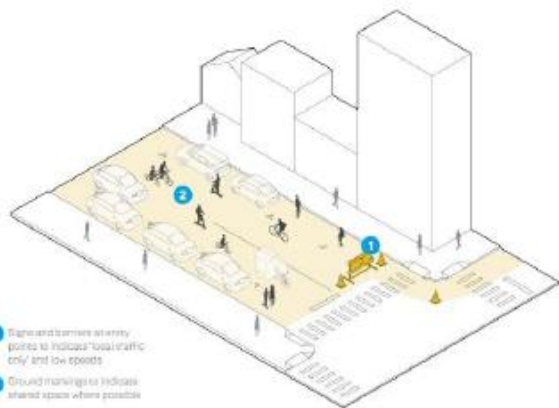
クルマの通行禁止とSlow Streetの整備



- 歩行時のソーシャルディスタンス確保と息抜きのための場所を設けるため、クルマの通行や速度を制限して歩車共存を目指した“Slow Street”が多くの都市で誕生

出典: NACTO HPより

SLOW STREETS



海外の事例

自転車道のITS化を進める コペンハーゲン



- 自転車シフトによるCO2削減を目指すコペンハーゲンでは自転車道のITS化を積極的に推進
 - 自転車専用信号、推奨車速と実車速の表示、推奨車速に応じたライトなど



官民ITS構想・ロードマップ これまでの取組と今後のITS構想の基本的考え方

地方部

多様な住民が自由に
移動できる社会

人口減少により自立した地域社会を維持することが難しくなっている地方部では、自家用車で移動する住民が多く、今後高齢化が進むにつれて免許を持たない住民の移動の自由が制約されるおそれがある。このため、日常生活に必要な移動を支える手段や、地域活性化に必要なヒトの移動を十分に確保するための、新しい技術やシステムを活用した移動代替手段を拡充・普及させ、多様な住民が自由に移動が行える社会を目指していく。

陸路での移動手段が困難な
山間地域にも利便性の高い
配送を行える

ドローン等の新たなモビリティが
活用されてこれまでは配送が困難
な場所にも効率的に物を運ぶこと
ができる。

誰もが自由に移動でき、地域が活性化している



自動運転移動サービスを使い公共施設
や商業施設を移動。散在する住民宅では
巡回するコミュニティバス、乗合タクシー
が利用できる。

充電・エネルギー充填を気にせずに
移動が行える



自動車が電池残量に応じて空いている
充電ステーションを探して移動すること
ができる。車両に充電されている電気は
移動以外にも活用することができる。

安全に、
安心して移動できる

自動車が周辺環境やドライバー
の体調をセンシングして安全な
運転をサポートしている。

ライフスタイルに合わせた
多様な働き方が出来る



日常の仕事をテレ
ワークを使って家
から出来る。

移動しなくてもサービスを受けることができる



移動車両を活用した小売り、飲食、医療等のサービス
が提供されていたり、遠隔での医療受診や地域イベント
が開催されている。

官民ITS構想・ロードマップ これまでの取組と今後のITS構想の基本的考え方

自家用車による移動が中心の都市部

渋滞が解消されスムーズかつ安全に移動が行える社会

交通渋滞が深刻な地域が多く、移動・通勤時間が長くなり、生活時間が制約されている中、今後高齢化に伴い、自家用車で移動できない住民が増加し、移動の自由が制約される可能性がある。

このため、情報技術を駆使して交通渋滞の軽減に取組み、安全に移動が行える社会を目指していく。

渋滞がなく、効率的に移動できる

様々な交通手段とのシームレスな連携と、目的地ごとに移動を束ねて効率的に移動。柔軟な価格設定やルート案内等による交通の量を最適化される。

エネルギーの需要と供給が最適化された低炭素な生活

車両に充電されている電気を昼は生活電力として使い、夜は車に電気をためて需給バランスを整えている。

物流や移動サービス等の収益性が向上し、事業が継続される

物流拠点間ではトラックが自動運転し、効率的に輸送が出来る。

移動時間を他の事に有効活用出来る



目的地まで自動運転。移動の時間を家族・友達との会話や仕事、他の事など自由に活用することができる。

移動しなくてもサービスを受けることができる

自動配送ロボットやドローンにより人手を介さずに配送が行える。



官民ITS構想・ロードマップ これまでの取組と今後のITS構想の基本的考え方

公共交通が普及している都市部

ニーズに合った移動が行える利便性の高い社会

人口密度が高く、公共交通サービスの利用者が多く存在する一方、移動や物流の需要が集中し、渋滞や混雑が深刻なため、生活時間が制約を受けている。このため、鉄道等の大量輸送手段とそれ以外の交通手段を組み合わせた移動手段や、自動運転等の新たな技術やシステムの活用等により、個々のニーズにあった利便性の高い移動が行える社会を目指していく。

エネルギーの需要と供給が最適化された低炭素な生活



車両に充電されている電気を昼は生活電力として使い、夜は車に電気をためて需給バランスを整えている。

安全に、安心して移動できる

自動車が周辺環境やドライバーの体調をセンシングして安全な運転をサポートしている。

移動しなくてもサービスを受けることができる



移動車両を活用した小売り、飲食等のニーズに応じたサービスを提供出来る。

渋滞がなく、移動時間を有効活用できる



目的地まで自動運転。移動の時間を家族・友達との会話や仕事、他の事など自由に活用することができる。

密にならず、効率的に移動できる

公共交通機関の混雑状況をリアルタイムで把握し、デマンド交通等ニーズに応じた様々な交通手段とシームレスな連携が出来る。柔軟な価格設定等で移動の需要を分散されている。